

グラフdeセンサス2015

グラフ

で

見て学ぶ

農林業センサス

第9回 農家世帯員

2017年（平成29年）
2月発行
東海農政局統計部

農家世帯員を年齢階層別にみると…

65歳以上の世帯員が4割近くを占めている

東海3県における農家世帯員と総人口を年齢階層別にみると、農家世帯員では団塊世代を含む60～69歳、総人口では団塊世代の65～69歳と団塊ジュニアの40～44歳の階層が山となっています。

農家世帯員の65歳以上の割合をみると、3県とも30%台後半となっており、総人口と比べると、岐阜県が8.4ポイント、愛知県が12.5ポイント、三重県が10.7ポイントそれぞれ上回っています。

★国勢調査とは

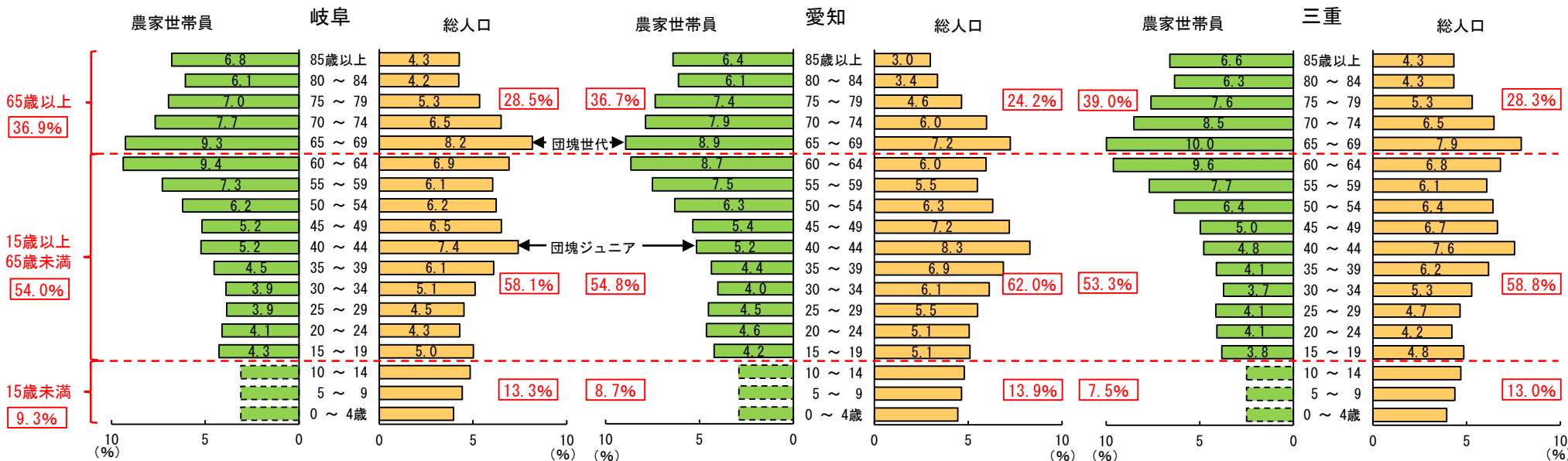
日本に住んでいるすべての人及び世帯を対象とする国の重要な統計調査で、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、5年ごとに行われます。

平成27年国勢調査は、大正9年に行われた我が国最初の国勢調査から数えて20回目です。

注：1 本資料の「農家」とは、農林業センサスの販売農家をさす。
2 総人口は、「平成27年国勢調査結果」（総務省統計局）による。



年齢階層別人口分布（平成27年）



注：1 農林業センサスでは、14歳以下の世帯員について年齢階層別の調査を行っていないため、農家世帯員の0～4歳、5～9、10～14は、14歳以下の値を3等分して表示している。

2 四捨五入により、計が100%にならない場合がある（以下、同じ。）。

農業就業人口の平均年齢をみると…

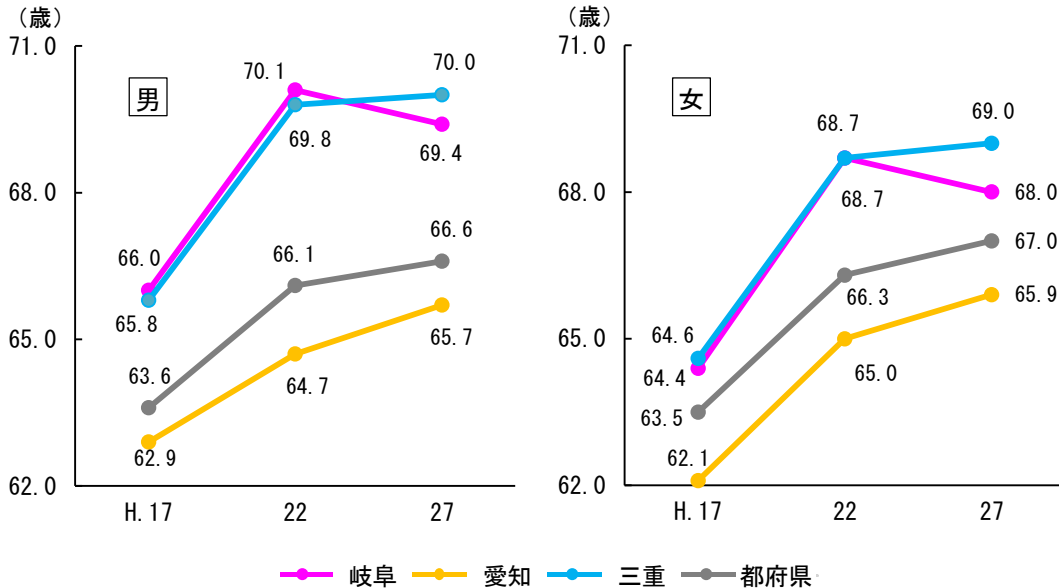
岐阜県では低下に転じる

東海3県における農業就業人口の平均年齢を男女別に平成17年からの10年間でみると、男性では岐阜県が3.4歳、愛知県が2.8歳、三重県が4.2歳それぞれ上昇し、女性でも岐阜県が3.6歳、愛知県が3.8歳、三重県が4.4歳と上昇していますが、平成22年からの5年間は岐阜県では低下に転じたほか、愛知県及び三重県でも上昇度合いが鈍化しています。また、都府県の平均年齢と比べてみると、愛知県では男女とも低くなっています。

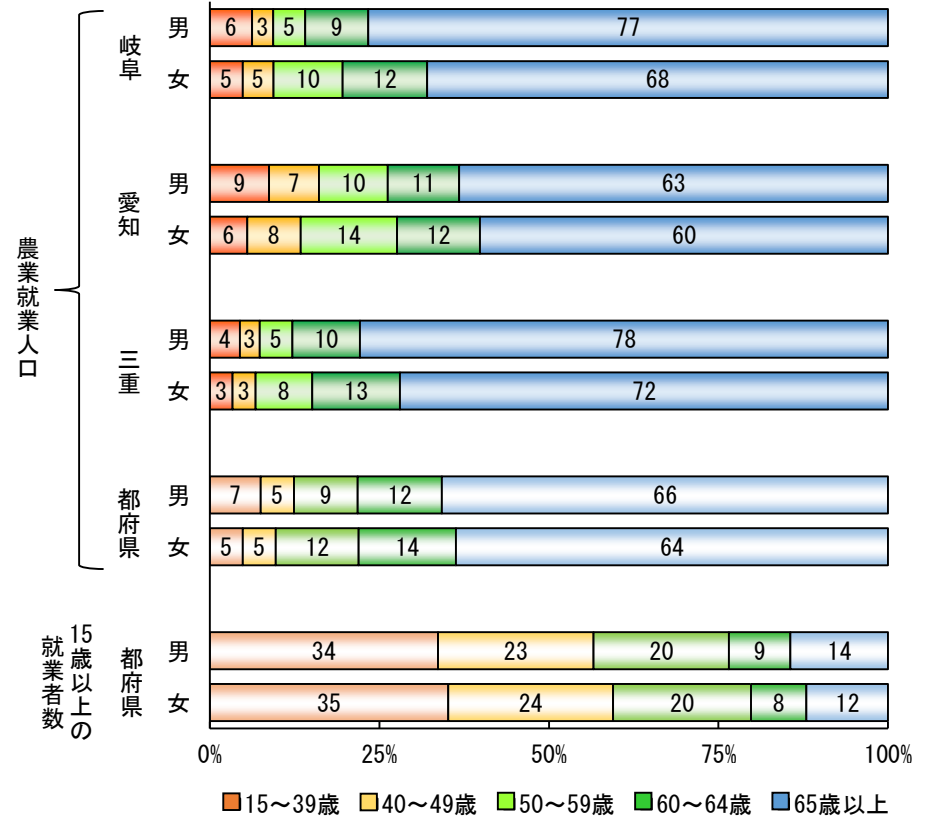
農業就業人口の年齢階層別構成割合をみると、男女とも65歳以上が60～78%を占めており、都府県と比べてみても岐阜県と三重県ではその割合が高くなっています。

ちなみに、国勢調査による都府県の15歳以上の就業者（全産業）の年齢階層別構成割合をみると、65歳以上の割合は男性が14%、女性が12%となっています。

農業就業人口の平均年齢の推移



年齢階層別構成割合 (平成27年)



15歳以上の就業者数

注: 15歳以上の就業者数は、「平成27年国勢調査結果」(総務省統計局)による。

ランキング

農業経営者の平均年齢が低い市町村 (平成27年)

順位	市町村	平均年齢	順位	市町村	平均年齢
1位	田原市	60.6	6位	輪之内町	65.2
2位	高山市	63.4	7位	碧南市	65.3
3位	飛島村	64.3	8位	豊橋市	65.4
4位	白川村	64.4	8位	南知多町	65.4
4位	木曾岬町	64.4	10位	愛西市	65.9

農業後継者の状況をみると…

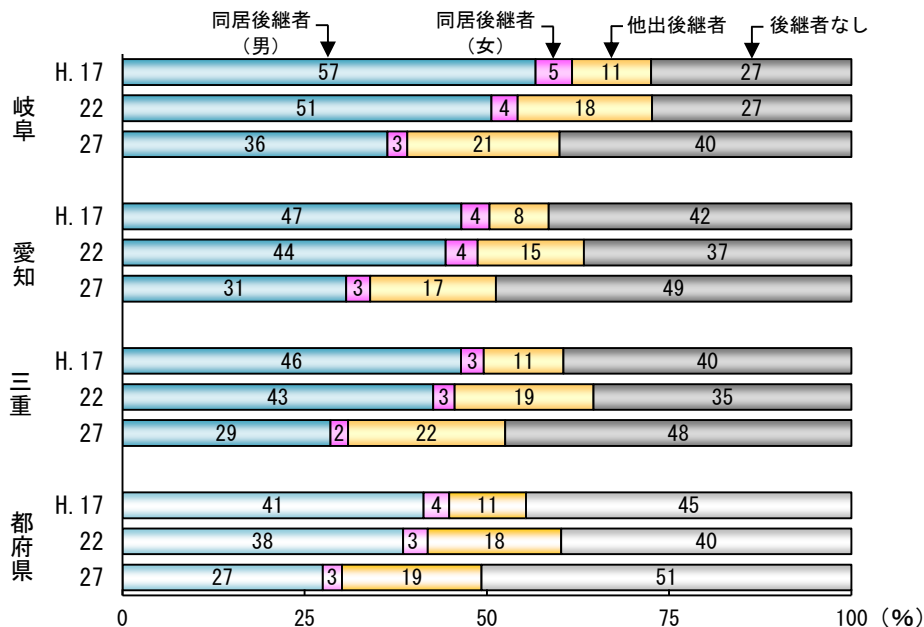
後継者有りの割合が都府県より高い

東海3県における平成27年の農業後継者（同居と他出の計）がいる割合をみると、岐阜県が60%、愛知県が51%、三重県が53%となっており、いずれも都府県より高く、特に岐阜県では11ポイント上回っています。

一方、同居後継者の平均年齢をみると、岐阜県は40.8歳、愛知県は41.3歳、三重県は40.6歳で都府県の39.1歳と比べてやや高くなっています。

同居後継者の平均年齢が低い経営部門は、岐阜県は酪農、愛知県は養豚、三重県は養鶏となっており、総じて畜産部門での同居後継者の平均年齢が低くなっています。

農業後継者の有無別農家数割合



お問い合わせ先

東海農政局 統計部 経営・構造統計課
 電話：(052) 763-4731
 FAX：(052) 763-4709

市町村別にみた同居後継者がいる割合と平均年齢 (平成27年)

岐阜県：40.8歳

同居後継者の平均年齢が低い市町村

- 1位 高山市 37.2歳
- 1位 白川村 37.2歳
- 3位 飛騨市 39.3歳

同居後継者の平均年齢が低い経営部門

- 1位 酪農 33.3歳
- 2位 養豚 33.8歳
- 3位 肉用牛 38.5歳

三重県：40.6歳

同居後継者の平均年齢が低い市町村

- 1位 紀宝町 36.7歳
- 2位 度会町 37.4歳
- 2位 大台町 37.4歳

同居後継者の平均年齢が低い経営部門

- 1位 養鶏 32.4歳
- 2位 酪農 34.3歳
- 3位 肉用牛 35.6歳

都府県：39.1歳

同居後継者の平均年齢が低い都府県

- 1位 長崎県 36.5歳
- 2位 佐賀県 36.9歳
- 3位 宮城県 37.1歳

同居後継者の平均年齢が低い経営部門

- 1位 酪農 34.0歳
- 2位 養豚 35.7歳
- 3位 施設野菜 35.9歳

愛知県：41.3歳

同居後継者の平均年齢が低い市町村

- 1位 田原市 34.8歳
- 2位 豊山町 36.9歳
- 3位 尾張旭市 37.4歳

同居後継者の平均年齢が低い経営部門

- 1位 養豚 35.0歳
- 2位 花き・花木 35.9歳
- 3位 酪農 36.3歳

同居後継者がいる農家数の割合

- 10%未満
- 10~30
- 30~40
- 40%以上